

親子で学ぶ転倒予防教室開催

平成25年5月18日（土）午後1時から、静岡市葵区北の麻機保育園リニューアルに伴い、本会の公益法人認定後新たに新設された健康推進部として、「親子で学ぶ転倒予防教室」を開催した。

当日準備として、子どもたちに柔道の形の演武を披露するための畳引きから始まり、山野委員の司会進行でスタートをした。

始めに、麻機保育園鈴木克明園長の挨拶から始まり、親子合わせて約65名で簡単な体操でウォーミングアップをしてから、谷口会員がタイガーマスクの格好で登場し会場の雰囲気のを和やかにしてから、子どもを対象とした「柔らかか転び」の実技指導を行った。

その中で、今の子どもたちは転び方を知らない子が多く、前に転倒した時など顔面からぶつけてしまい大けがに繋がることの説明をし、また、手の突き方を間違えると骨折に繋がることなどの話では、父兄や保育園の先生方も耳を傾けメモを取りながら真剣な眼差しで聞き入っていた。タイガーマスクからは、「必ず関節が曲がる方向に手を突くように」という指導では、可愛い大きな声で「はい」と返事が返ってきた。

その後、増田会員、加藤会員による柔道の形の演武を披露し、子どもたちにも柔道着を着てもらい、前転、後転の練習を指導した。

約1時間の講習会であったが、公益事業としての目的は達成したと思った。

健康推進部長 太田 潤



司 会





柔道形

